

■目標

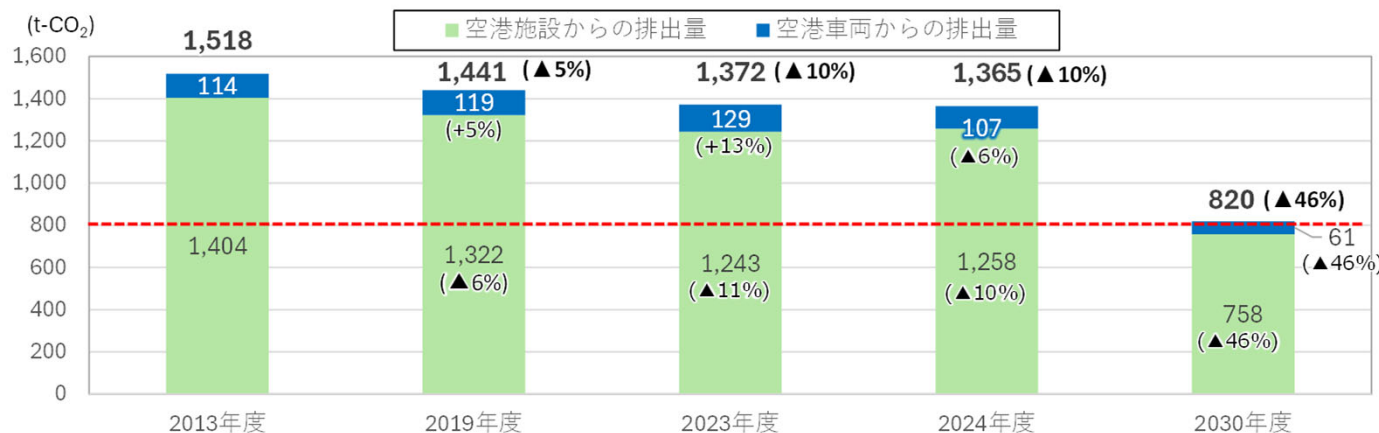
2030年度 CO₂排出量 2013年度比 46%削減

2050年度 カーボンニュートラル

■取組状況

- **空港の施設**：航空灯火LED化により、CO₂排出量は推定7t-CO₂/年削減。(2013年度比0.5%相当)
 空調・熱源設備の省エネ化により、CO₂排出量は推定2t-CO₂/年削減。(2013年度比0.2%相当)
- **空港車両**：空港車両のEV化により、CO₂排出量は推定10t-CO₂/年削減。(2013年度比0.7%相当)
 空港車両のHV化により、CO₂排出量は推定0.2t-CO₂/年削減。(2013年度比0.02%相当)

区分	CO ₂ 排出量【t-CO ₂ /年】				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	1,404	1,322	1,243	1,258	758
空港車両からの排出量	114	119	129	107	61
計	1,518	1,441	1,372	1,365	820



2030年度目標値

※()内の数値は基準年度(2013年度)比の増減率

※丘珠空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告をもとに作成

■CO₂排出量の増減理由

- 空港の施設からのCO₂排出量は高止まりの傾向にある。旅客需要の増加や電源コーナーの増設、新たな航空会社の入居などがCO₂排出量の増加に影響したと考えられる。
- 空港車両からのCO₂排出量は減少傾向にある。車両のEV化等がCO₂排出量の削減に寄与したと考えられる。